

令和6年度 特別の教育課程（立川市民科）の実施状況等について

1. 学校名 立川市立立川第五中学校

2. 令和6年度 学校における自己評価

立川市民科の取組の効果	・地域訪問や職場体験学習、地域防災訓練などの取組を通してよりよい社会の実現に向けて考え、行動しようとする意識が高まった。 ・地域の方々と直接関わり、生徒自身が自己の生き方や社会参画について考え、市民性を育むことができた。
立川市民科の取組の課題	・立川市民科の教科化から3年が経過したことから、生徒の主体性を引き出し、立川市民科で目指す生徒像の具現化に向けて内容の見直し・精選により、学習の効果を高める。

3. 令和6年度 学校評価に係る項目のうち立川市民科に関する評価結果

①対象：児童・生徒

項目：立川市民科では、自分で立てた課題について、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現することができた。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまり そう思わない	思わない	わからない
36.7%	46.5%	9.1%	3.2%	4.5%

②対象：保護者

項目：立川市民科では、探究的な学びの実現に向けて組織的に取り組んでいる。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまり そう思わない	思わない	わからない
22.0%	53.8%	5.8%	1.4%	17.0%